

種 目	萌芽研究		研究代表者 氏 名	金 尚泰
研究課題	3DCG とリアルタイムインタラクションを用いた情報表現の研究 ー生活支援ロボットマニュアル標準化に向けてー			
研究組織（研究代表者及び研究分担者）				
氏 名	所属研究機関・部 局・職	現在の専門	役割分担	
金 尚泰	筑波大学・図書館 情報メディア研究 科・講師	芸術学・デザイン学 情報デザイン	研究総括	
研究目的				
<p>本研究は「ビジュアルコミュニケーションデザインの知見」からの3DCG と空間表現を用いた新しい情報デザイン手法の応用により、今までの無い新概念のマニュアルを試作することを目的とする。近年、多様化する「メディア」存在は、従来のような受動的なものではなく、人間の意思を介した相互作用による動的なメディアとして発展していることから、技術の開発・応用をより直感的表現を中心として研究を進める。</p>				
研究成果				
● リアルタイムインタラクション表現のプロトタイプ作成				
				
<p>① ,③外骨格を補う機能の概念図 ② 電気信号の伝達仕組み概念図 ④ 装着手順の概念図 ⑤,⑥ 携帯用端末での操作テスト</p>				
<p>1. 構造の概念モデルの試作：研究者の要望に基づき、伝達すべき内容を絞って「読む」から「見る」への表現を試みた。図①～④は、構造説明用3Dモデリング。</p> <p>2. 携帯用端末での応用可能生検討と試作：携帯端末仕様上の特性と発展方向の推移を注目しながら現段階での可能性を探るため、iOS用コンテンツを試作した。</p>				
代表的な研究発表・特許等の成果一覧、特記事項等				
<p>様々な試作は行ったものの、まだ未開拓分野であるため、仕様上のOS(Android, iOS)特性と発展方向の推移把握に時間を要する。特に、プログラム開発環境の基本であるOSや携帯端末仕様の依存性が高いことと、プログラミング環境の自由度が制限されている点に注目し今後の展開を模索中である。ユーザ側の使い心地を中心とした発想に基づく自由な操作を可能にするコンテンツ制作のため(感性的マルチタッチ、リアルタイムでの3DCGポリゴンデータのハンドリング)継続的な研究が必要とされる。2011年度科学研究費申請：挑戦的萌芽研究「リアルタイムインタラクションを用いた生活支援ロボットマニュアルの標準化」の課題で申請済み。</p>				

